

平成30年度 従来型・ユニット型特別養護老人ホームネバーランド 事業報告書

1. 施設の概要

(1) 介護保険法

- ・介護老人福祉施設 (定員50名)
- ・地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 (定員20名)
- ・短期入所生活介護 (定員22名)

(2) 障害者総合支援法

- ・短期入所 (空床対応)

2. 職員配置数

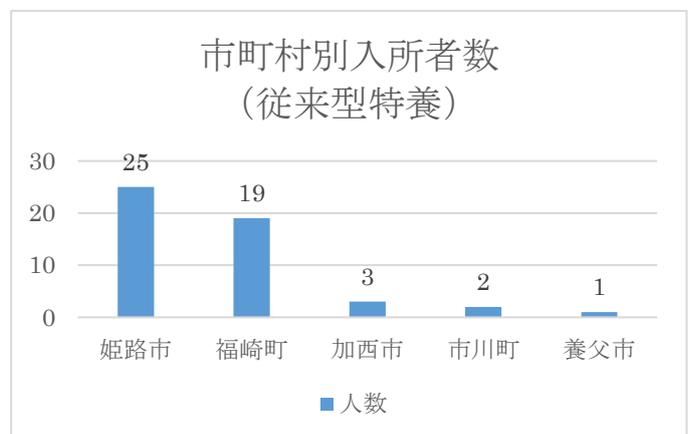
(1) 職種別人員

職 種	基 準 (従来型特養)	現 員 (従来型特養)	基準数 (ユニット特養型)	現 員 (ユニット特養型)
施設長	1人	1人	1人	1人
生活相談員	1人	2人	1人	1人
介護支援専門員	1人	1人	1人	1人
介護職員	23人	35人	8人	11人
看護職員	3人	7人	1人	1人
機能訓練指導員	1人	1人	1人	1人
医 師	必要数	1人	必要数	1人
栄養士	1人	2人	1人	2人
調理員		1人		1人
事務員		3人		1人
合 計	32人	54人	15人	21人

3. 入所者の状況 (平成31年3月31日現在)

(1) 市町村別入所者数 (従来型特養)

市町村名	人 数	割 合
姫路市	25人	50%
福崎町	19人	38%
加西市	3人	6%
市川町	2人	4%
養父市	1人	2%
合 計	50人	100%



(2) 年齢別・性別入所者数

年 齢	従来型特養			ユニット型特養		
	男性	女性	合計	男性	女性	合計
60歳未満	0人	0人	0人	0人	0人	0人
60歳～69歳	1人	0人	1人	0人	0人	0人
70歳～79歳	3人	2人	5人	0人	2人	2人
80歳～89歳	7人	15人	22人	1人	5人	6人
90歳～99歳	2人	18人	20人	1人	11人	12人
100歳以上	1人	1人	2人	0人	0人	0人

(3) 最高年齢・最低年齢及び平均年齢

	従来型特養			ユニット型特養		
	男性	女性	全体	男性	女性	全体
最高年齢	103歳	100歳	103歳	94歳	97歳	97歳
最低年齢	68歳	70歳	68歳	86歳	77歳	77歳
平均年齢	84.5歳	89.7歳	88.3歳	90歳	89.6歳	89.6歳

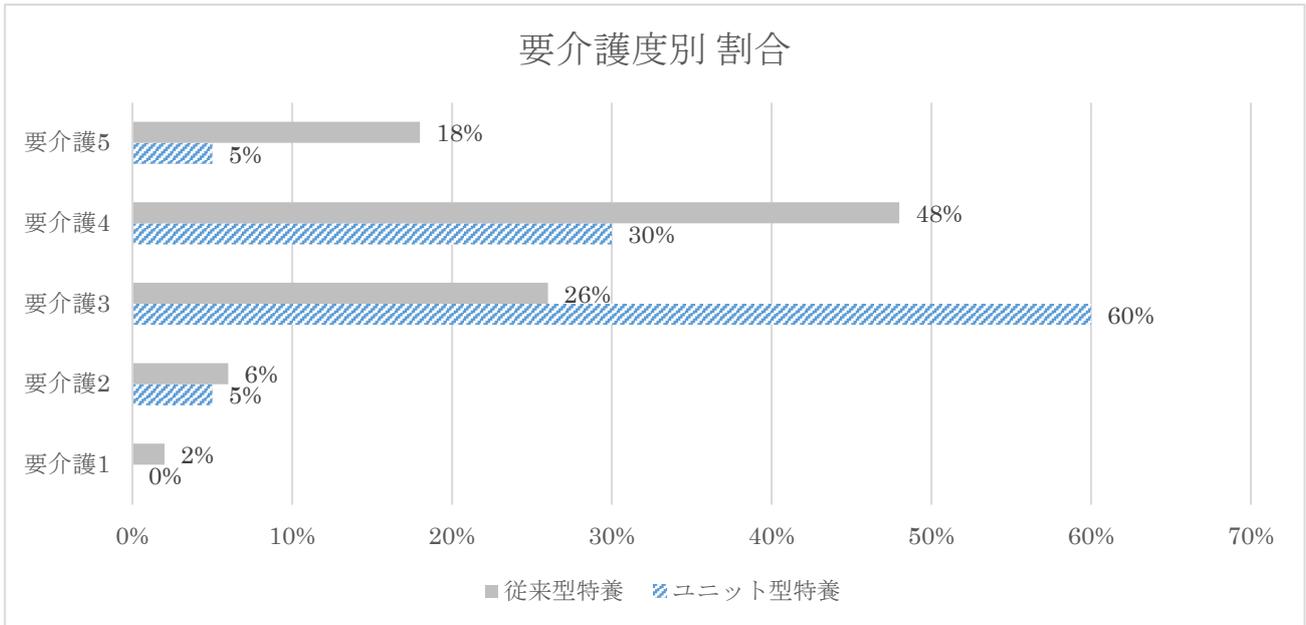
(4) 在籍年数別入所者数及び平均在籍期間

	従来型特養		ユニット型特養
	人数	割合	人数
1年未満	16人		6人
1年～3年未満	16人		14人
3年～5年未満	7人		※ ユニット型特養は、事業開始年月日が平成28年(2016年)7月1日である為、3年以上の在籍年数入居者はいません。
5年～10年未満	4人		
10年～15年未満	5人		
15年～20年未満	0人		
20年～25年未満	2人		
平均在籍期間	3年11ヵ月		1年4ヵ月

4. 要介護度別入所者数

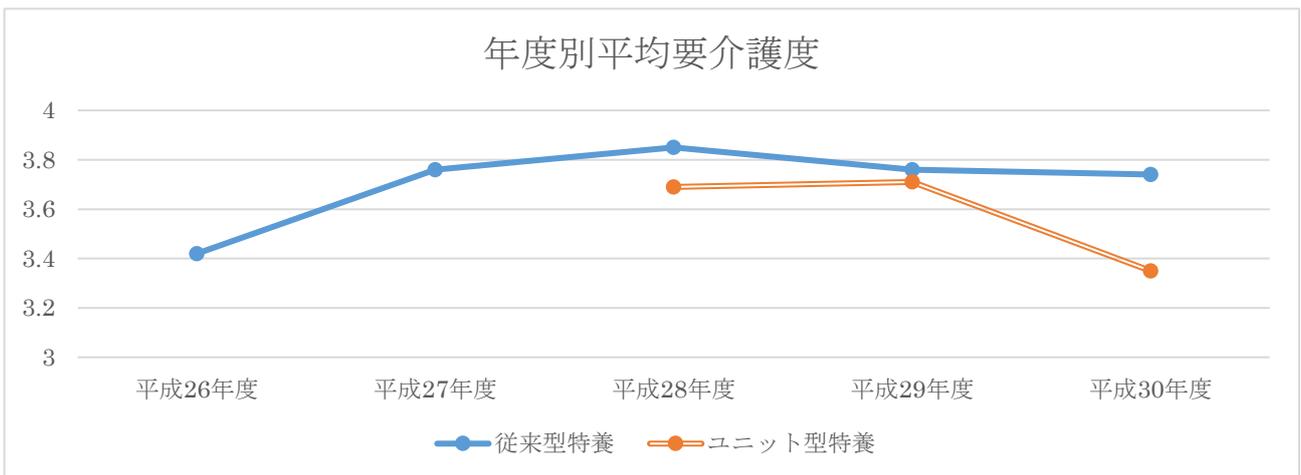
(平成31年3月31日現在)

要介護度	従来型特養		ユニット型特養	
	全体	割合	全体	割合
要介護1	1人	2%	0人	0%
要介護2	3人	6%	1人	5%
要介護3	13人	26%	12人	60%
要介護4	24人	48%	6人	30%
要介護5	9人	18%	1人	5%
合 計	50人	100%	20人	100%



※年度別平均要介護度

	従来型特養	ユニット型特養
平成30年度 (2018年度)	要介護 3.74	要介護 3.35
平成29年度 (2017年度)	要介護 3.76	要介護 3.71
平成28年度 (2016年度)	要介護 3.85	要介護 3.69
平成27年度 (2015年度)	要介護 3.76	
平成26年度 (2014年度)	要介護 3.42	



5. 認知症高齢者の日常生活自立度

(平成31年3月31日現在)

ランク	判定基準	従来型特養	ユニット型特養
自立	認知症を有していない。	0人	1人
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	0人	1人
II a	家庭外で、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	1人	2人
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	2人	3人
III a	日中を中心として、日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	16人	6人
III b	夜間を中心として上記IIIの状態がみられる。	2人	2人
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	19人	4人
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	10人	1人
合 計		50人	20人

6. 入所者の日課

7:00	起床、着替え、洗面	<ul style="list-style-type: none"> ・一般浴、チェアー浴（毎日） ・療育音楽（週2回） ・手作りおやつ （火曜日・金曜日の午後） ・誕生会 （第3木曜日） ・選択食：昼食 （月曜日・水曜日・金曜日） ・御膳料理：昼食（月1回）
7:45	朝食	
8:30	口腔清拭	
8:50	ラジオ体操第一	
10:30	喫茶・レクリエーション・療育音楽等 入浴	
12:00	昼食	
12:50	口腔清拭	
14:00	ラジオ体操第二	
14:10	喫茶・レクリエーション・手作りおやつ等 入浴	
17:30	夕食	
18:30	口腔清拭	
19:30	ナイトケア	
20:30	消灯	

7. ボランティア

火曜日～金曜日	喫茶手伝い（ひなぎく）
第2、第4土曜日	手芸：入所者の日用品や衣類の繕い等（ひなぎく）
5月、11日	動物介在活動（姫路開業獣医師会）
9月	マッサージ（姫路保険鍼灸マッサージ師会）

8. 学校関係

(1) 実習受入

8月20日（月） ～10月2日（火）	介護実習 ハーベスト医療福祉専門学校2年生（2名）
9月3日（月） ～9月7日（金）	栄養士実習 兵庫県立大学（3名）

(2) ボランティア

4月8日（日）	お花見会〔家族会行事〕 模擬店手伝い、介護補助等 ひなぎく（17名）、日ノ本学園高等学校（9名） 合計26名
7月24日（火）	奉仕作業、介護補助 賢明女子学院（15名） 合計15名
7月24日（火） ～7月30日（月）	介護補助 日ノ本学園高等学校（2名） 合計2名
10月27日（土）	ネバーランド祭り〔家族会行事〕 模擬店手伝い、介護補助等 ひなぎく（18名） 姫路日ノ本短期大学（12名） 神崎高等学校（12名） 神戸女子大学（4名） 一般の方（3名） 日ノ本学園高等学校（2名） 神戸医療福祉大学（1名） ハーベスト医療福祉専門学校（1名） 合計53名
12月16日（日）	クリスマス会〔家族会行事〕 ハンドルベル演奏 賢明女子学院 ハンドルベル部（19名） 合計19名

(3) トライやる・ウィーク受入

5月28日（月） ～6月1日（金）	姫路市立神南中学校 男子（2名） 姫路市立豊富中学校 女子（5名）
----------------------	--------------------------------------

9. 行事、その他

		従来型特養	ユニット型特養
		行事、その他 [場所]	行事名、その他 [場所]
4月	8日(日)	お花見会(家族会行事)[施設周辺、館内]	
	13日(金)	芝桜見学(ヤマサ蒲鉾)[夢前町]	
	27日(金)	加西フラワーセンター[加西市]	たい焼き作り[ユニット内]
5月	10日(木)	こいのぼり見学(グリーンエコー笠形)[神崎郡神河町]	
	17日(木)	わんにゃんサークル(姫路開業獣医師会)[本館1階]	
	19日(火)	避難訓練(端岡自治会合同)[館内、施設周辺]	
	22日(火)	健康診断(河合医院)[バリーホール]	
	24日(木)	出石外出[豊岡市]	
	26日(土)	船津小学校 運動会見学[船津町]	
6月	10日(日)	カラオケ大会[従来型特養内]	
	12日(火)		もちむぎの館外出[福崎町]
	13日(水)	フィットライフユー(健康体操)[従来型特養内]	
	19日(火)	そうめんの里外出[たつの市]	
	29日(金)	合同慰霊祭[本館1階]	
7月	10日(火)	ヤクルト工場見学[三木市]	
	11日(水)		加西イオン、買い物外出[加西市]
	13日(金)	フィットライフユー(健康体操)[従来型特養内]	
	18日(水)		七夕ゼリー作り[ユニット内]
8月	22日(水)	花火大会(施設第1駐車場)	
	29日(水)		そうめん流し[ユニット内]
	31日(金)	加西イオン内サーティーワンアイスクリーム外出[加西市]	
9月	7日(金)		かき氷作り[ユニット内]
	9日(日)	敬老会(家族会行事)[バリーホール]	
	13日(木)		ドラッグコスモス 福崎店 買い物外出[福崎町]
	19日(水)	フィットライフユー(健康体操)[ユニット内]	
	23日(日)		たい焼き作り[ユニット内]

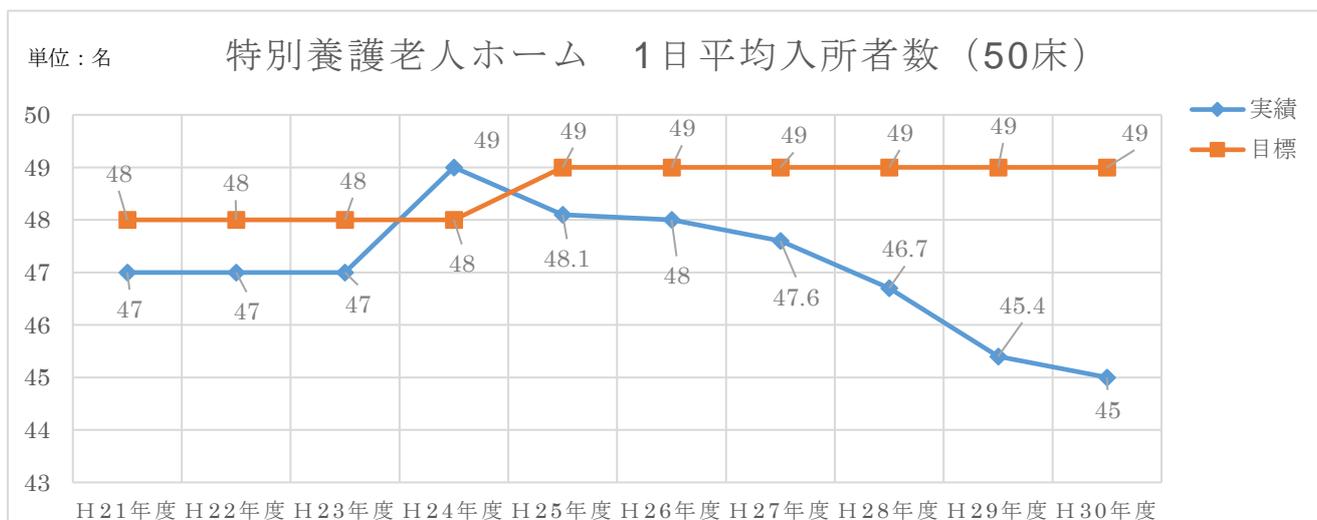
10月	6日(土)	屋台来所 見学 (二色地区、上野地区、西山田地区) [施設周辺]	
	19日(金)	マッサージ師来所 (姫路市鍼灸マッサージ師会) [従来型特養内]	
	24日(水)	須磨水族館[神戸市]	
	26日(金)		フィットライフユー (健康体操) [ユニット内]
	27日(土)	ネバーランド秋祭り (家族会行事) [施設周辺]	
	30日(火)	船津小学校 校内音楽会 見学 [船津町]	
11月	8日(水)	インフルエンザ予防接種 (おおにしクリニック) [各事業所内]	
	10日(土)		姫路市農林漁業まつり外出 [船津町]
	15日(木)	わんにゃんサークル (姫路開業獣医師会) [本館1階]	
12月	16日(日)	クリスマス会 (家族会行事) [バリーホール]	
1月	1日(火)	職員かくし芸大会 [従来型特養内]	
	2日(水)	書初め [従来型特養内]	カラオケ大会 [ユニット内]
	3日(木)	紅白歌合戦 (カラオケ) [従来型特養内]	書初め [ユニット内]
	13日(日)	とんと (端岡自治会) [施設第3駐車場となり]	
2月	9日(土)		節分行事 [ユニット内]
	19日(火)	木育キャラバン (兵庫県立 丹波年輪の里 林産指導課) [バリーホール]	
	27日(水)	避難訓練 (夜間想定) [各事業所内]	
3月	7日(木)		タコ焼き作り [ユニット内]
	9日(土)		焼き芋作り [施設第4駐車場]
	24日(日)	ごぼう先生と楽しむ	健康体操講座 [バリーホール]
	28日(木)		桜餅作り [ユニット内]

10. 目標達成率（1日平均利用人数）と、実績結果に対する考察

(1) 特別養護老人ホーム

実績：1日平均入所者数 45名（目標 49名）※定員 50名

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績	47名	47名	47名	49名	48.1名	48名	47.6名	46.7名	45.4名	45名
目標	48名	48名	48名	48名	49名	49名	49名	49名	49名	49名
達成率	95.9%	95.9%	95.9%	100%	98.2%	98.0%	97.1%	95.3%	92.7%	91.8%



平成30年度の1日平均入所者数の実績は、45名と目標の49名より、4名少ない結果となった。平成29年度の実績との差は-0.4名と微減であるが、目標を達成した平成24年度（実績49名）を境に実績は年々下がっており、平成24年度と平成30年度の空床要因の比較は以下のようになっている。

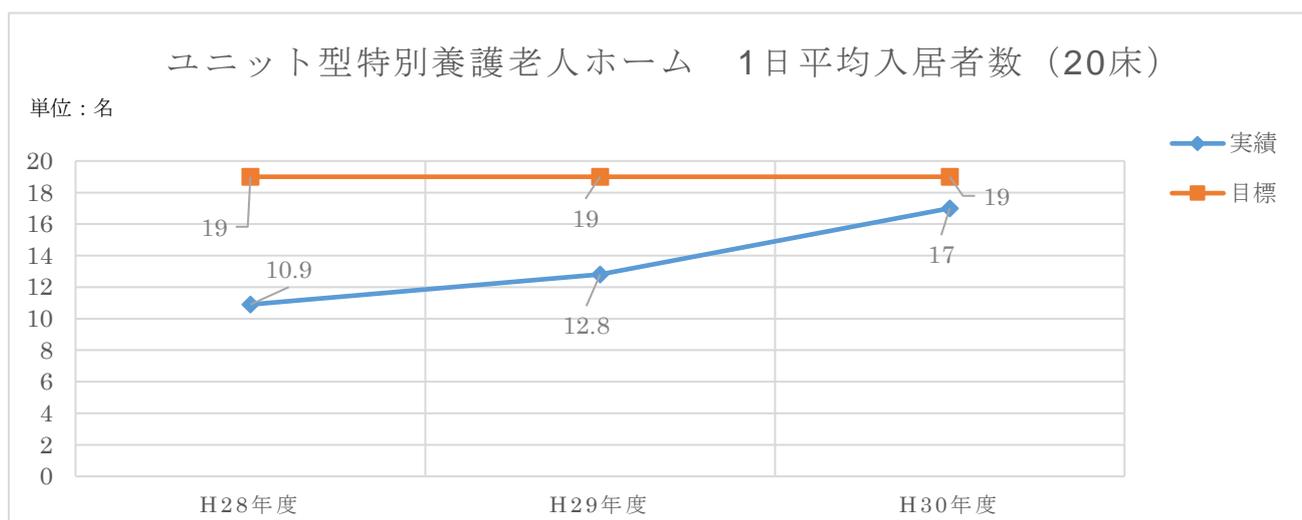
- ・ 平均介護度 3.56（平成24年度） ⇒ 3.74（平成30年度）
- ・ 退所者数 12名（平成24年度） ⇒ 15名（平成30年度）
- ・ 入院回数 20回（平成24年度） ⇒ 42回（平成30年度）
- ・ 平均入院日数 13.4日（平成24年度） ⇒ 26.6日（平成30年度）

重度化に伴い、退所者数・入院回数・平均入院日数が増えた事が、目標を下回った要因となっている。入院の原因疾患として、肺炎（※誤嚥性肺炎、気管支肺炎を含む）が約半数となっている為、食事形態や食事姿勢・口腔ケア等の適切な実施と見直しが今後の課題となっている。

(2) ユニット型特別養護老人ホーム 1日平均入居者数

実績：1日平均入所者数 17名（目標 19名）※定員 20名

	H28年度	H29年度	H30年度
実績	10.9名	12.8名	17名
目標	19名	19名	19名
達成率	57.4%	67.4%	89.5%



平成 30 年度の 1 日平均入居者数の実績は、17 名と目標の 19 名より、2 名少ない結果となった。平成 29 年度の実績との差は+4.2 名と実績は上向きで、平成 29 年度と平成 30 年度の空床要因の比較は以下のようにになっている。

- 平均介護度 3.71（平成 29 年度） ⇒ 3.35（平成 30 年度）
- 退所者数 6 名（平成 29 年度） ⇒ 4 名（平成 30 年度）
- 入院回数 26 回（平成 29 年度） ⇒ 17 回（平成 30 年度）
- 平均入院日数 13.4 日（平成 29 年度） ⇒ 26.6 日（平成 30 年度）

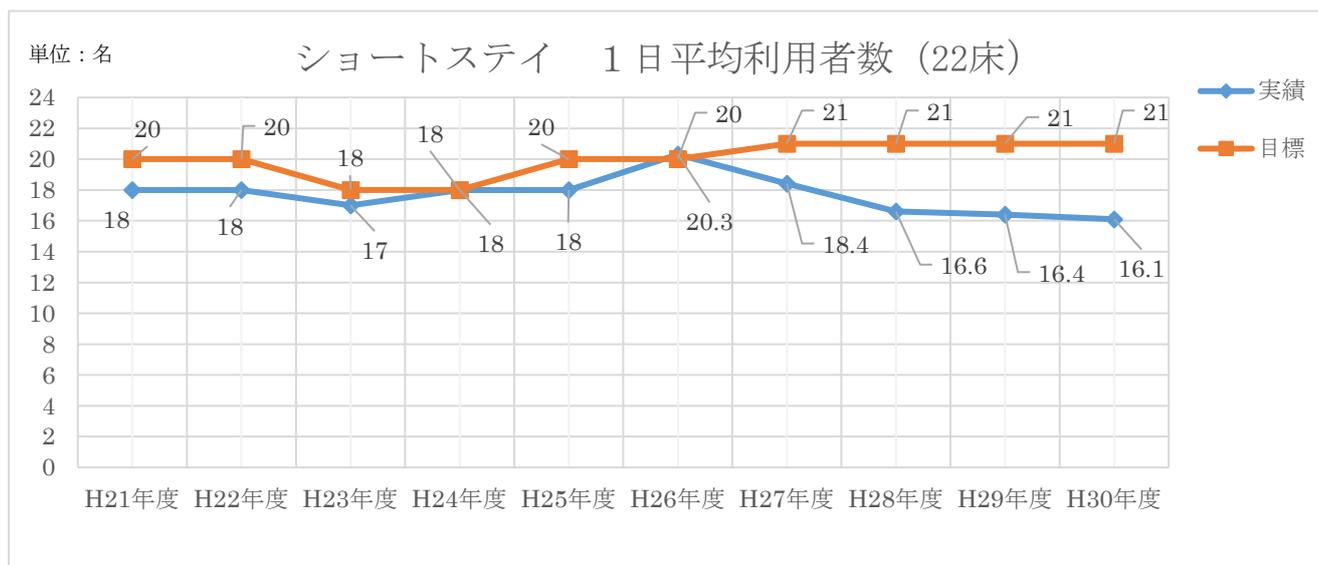
空床要因が減り入居者全体の健康状態は前年度に比べ比較的落ち着いていた。

平成 31 年 3 月末時点で、満床（20 床）となっている為、満床状態が継続できるよう、日々の健康管理に努め安定的な入居継続に繋げたい。

(3) ショートステイ 1日平均利用者数

実績：1日平均入所者数 16.1名（目標 21名）※定員 22名

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
実績	18名	18名	17名	18名	18名	20.3名	18.4名	16.6名	16.4名	16.1名
目標	20名	20名	18名	18名	20名	20名	21名	21名	21名	21名
達成率	90%	90%	94.4%	100%	90%	102%	87.6%	79%	78.1%	76.7%



平成30年度の1日平均利用者数の実績は、16.1名と目標の21名より4.9名少ない結果となった。

平成30年度の新規利用者は60名と例年に比べ多かったが、平成31年3月末時点で、継続利用されている方は、26名となっている。（※平成29年度、新規利用者29名、内7名が継続利用）

新規利用者の継続利用に至らず、実績が下がっている要因は以下のようになっている。

- ・ ショートステイ利用者が、同法人の特別養護老人ホームに多く（15名）入所された。
- ・ ショートステイの利用希望が土日祝日に集中しており、利用の受け入れが困難なケースが何度かあった。
- ・ 平日はデイサービス等、他の在宅介護サービスを利用しているケースが多く、平日の空床が多く見られた。

以上の事から、新規利用者の定着と、曜日の調整が今後の課題となっている。

1 1. 平成 30 年度事業計画に対する結果と考察

平成 30 年度は、看取りケアを 1 名行い、家族より「(義母が) ネバーランドで穏やかな最期を迎えられて本当に良かった」との言葉を頂いた。今後も入所者やご家族に安心と満足度の高い看取りケアを受けて頂けるよう、継続的な勉強会を実施していく予定である。

家族会会員数の増加に伴い、行事に参加する家族が増え、職員と家族との信頼関係を築く良い機会となった。この事により入所者⇔家族⇔職員の心理的な距離が短くなり、安心できる施設サービス利用に繋がったものと思われる。

café Zin や楽笑カフェ（認知症カフェ）を定期的に利用する事により、生き生きとした楽しい時間を過ごしてもらおうと共に、入所者と社会との繋がりが支援できた。

インフルエンザが全国的に猛威を振るい、集団感染がみられた他法人施設もあったが、感染症対策委員会を中心とした素早い対策により、平成 30 年度は、従来型特養・ユニット型特養のインフルエンザ等の感染症罹患者はでなかった。

職員教育に関して、救急対応研修・看取り研修等を行った。中堅職員は個々のレベル・段階に合ったバイザー研修を行う事によりスキルアップが行えた。また適宜、職員面談を行い、困り事の聞き取りや、業務の振り返りを行う事で、メンタル面でのフォローや、仕事の改善や成長の促しが行えた。